

第35期長崎県社会教育委員紹介

所属 壱岐子ども劇場 事務局長 そらまめ劇団 代表
壱岐市地域婦人会連絡協議会 会長

氏名 武原 由里子

主な活動

壱岐の子どもに関わり 29 年。学校や家庭以外の第3の居場所づくりを継続しています。地域子ども教室・土曜学習応援団・高校生と乳幼児ふれあい体験事業・キャラバンカーでの移動図書館読み聞かせ活動やプロの劇団と共に本物の舞台芸術鑑賞の場を創る活動など、乳幼児から高校生まで、子どもの発達段階に合わせた関わりやサポートをしています。

また、不登校傾向の生徒の学習支援やカウンセリングやコーチングのサポートなど、悩んでいる親も気軽に集える居場所づくりも始めました。



【絵本の読み聞かせ】



【移動図書館】



【ワックスボール製作】

社会教育に対する思い

23 年前、壱岐で子育てする仲間や場所を求めて、自主育児サークル「ひまわり」を主宰し、親子の交流の場を始めました。幼少期に地域の公民館の庭に花を植えたり、子どもだけで歌や踊りの練習をしたりして自ら仲間と楽しく活動をしていたことを思い出します。

ボランティアや社会教育という概念にとらわれず、地域で困っていることを解決するために、自分たちでできることを楽しみながらがんばっています。それでも解決できない場合は、他団体や行政機関などとのネットワークを活かして協働した取り組みを展開するよう心がけています。

活動を続ける中で、子どもの笑顔を見ることが、一番の原動力となっています。“わが子のために”と思って始めた活動も、いつしか“地域に住む子どもの輝く笑顔のために”と変わっていき、社会教育の奥深さや面白さを実感しています。自分たちの地域を自分たちの力で住みやすくしていきたいです。